**■目標実現に向けた行動と振り返り**

■志

■考え抜く

■働きかけ

ブロワモータ熱流体解析業務を通して得た知見とツール（FloEFD）の操作技術・テクニックをドキュメントにまとめ、関係部署へと展開する。

**■目標と業績**

テーマ：機電一体熱連成環境の構築

次世代ブロワモータ向け連成解析業務に向けて、モータ・制御・熱・NVを含む連成解析環境の構築を行い、モータ先行開発部における仕様設計への適用を目指す。既存の連成解析環境をベースにモータ・制御の仕様に合わせた連成解析モデルを作成し、素子発熱やNVなどの実測結果と整合性をとれるようにモデルの改善を行う。また、開発部署の小型化・低コスト化といったニーズを満たせるように、モデル展開後も継続的に環境改善を行うことで、競争力のあるモータ開発を行えるようにサポートする。

■重点

①熱流体解析環境の構築

次世代ブロワモータであるBAUMの

②過渡熱抵抗の合わせこみ工数削減に向けたキャリブレーション機能の評価

■強みと弱み

【強み】

業務の達成に必要な知識やスキルを自ら学び、情報収集することで目標達成に向けて行動することが出来る。また、自身で解決できない問題に対しては、上司に相談し業務を進め、自部署内で解決できない問題に対しては、他部署に働きかけ問題解決に向けて行動することが出来る。

【弱み】

業務の目標水準や目的を論理的に説明することができない場面がある。また、業務の課題・問題点に対して多角的な視点で解決策を考えられていないことがある。

■目指す姿

設計者目線に立ったCAE開発を行い、新たな開発技術を設計部署へと提案することで設計者に利用してもらえるようなCAE環境の構築を目指す。また、新たな技術開発だけでなく、過去の業務に対しても、関係部署へとフォローアップを行うことで、継続的に開発技術を利用してもらえるように働きかけを行う。業務に取り組む際は、目標や目的に対して、多角的・論理的な視点を重視することで、業務の計画を立て実行することを目指す。

■目指す姿に向けたキャリアデザイン

新入社員という立場を活かし、その分野の初学者であっても使いやすいようなCAE環境を提供できるように業務に取り組む。また、自部署だけでなく、他部署や社外との関係を構築することで情報収集を行い、新規技術の開発に向けて取り組む。業務の計画に取り組む上では、立案した計画を実行する前にその業務の背景や目的に立ち返ることで、多角的に課題解決に向けて行動できるようにする。